

草加市倫理法人会 モーニングセミナー報告(7月)

(会場) 埼玉屋旅館

草加市高砂1-10-13 048-922-4141

7月2日(木) 第908回

講師: 河井 孝夫 氏
草加市倫理法人会 会員
テーマ: 「七転び八起き」



草加市西町に生まれる。小学四年から父が運送業を始めたので手伝い、中学生の頃は牛乳配達をしていた。中学卒業後、転々と職を変え独立できる事はないかと考えていた。靴の営業を四年した頃、社長の許可も取らずに半年分の注文を受け、半年間会社を借り、しっかりと利益を出した。その頃結婚し、生活のために独立し不動産業。オイルショック、バブル崩壊などあったがバブルの時は病気で仕事が出来なかつたので被害は少なかつた。転びっぱなしだが結婚五十年、妻に感謝し今では年一回の船の旅を楽しんでいる。現在は都市計画審議委員のお役を頂いた中、良い街づくりをして少しでも草加をよくしたいと考えている。

大井 直人 記

7月9日(木) 第909回

講師: 小山 福松 氏
さいたま市浦和区倫理法人会 相談役
テーマ: 「倫理経営と経営品質」



一九四〇年東京生まれ。戦争疎開のため一歳の時浦和に転居。父親が七回商売替えをし、この時の体験が自分の原点となり、宅建業を始め。商売上のモットーは「儉約」「堅実」「謙虚」。そして「大どり」より「小どり」、つまり小さく儲ける。不動産屋という以前は一発屋といわれ、あまり良く思われない職業だった。倫理と出会って考え方が変わった。活力朝礼を取り入れ「出迎え三步、見送り七歩」を実践した。お客様は見えていなくても世間がみている。「良く思われない職業」から「良く思われる職業」へ会社の質を高め続ける毎日である。

早川 純一 記



7月16日(木) 第910回

講師: 齊藤 華奈美 氏
久喜市倫理法人会 会員
テーマ: 「得意なことを仕事にする」



～「分りやすく」を追求するのは誰のため?～

小学校の頃から同級生に勉強を教える時の「分りやすい説明」が人気でした。昔読んだ「コバンザメの冒険」という本の中の本物を目指す、やりっぱなしにしない、期待された結果を出す、という言葉が好きになりました。その後、理系の研究者を目指して大学に進学するも探究心が満たされず中退。そして得意な事を職業にしたいという思いから創業しました。クライアントのやる気を引出し質問には丁寧に答える改善のコンサルティンクをしています。コンサルティンクをしながら気づいた事は「問題に気づかない事が問題」です。そこに力を入れてやっています。そして得意な仕事は必ず誰かの為になつていくという事。クライアントが困った時に「横を向けば私がいる」と安心されるコンサルティンクを目標にして行きます。

芹澤 一人 記

7月23日(木) 第911回

講師: 永富 雪子 氏
草加市倫理法人会 会員
テーマ: 「私が実践している夢と笑いと言葉のこと」



「ここにこして全身からエネルギーが発散している永富さん。心が体を作り出すよ! 繋いでいるものは「気」で生命エネルギーの波動が大事。時間は未来からやってくる。思いが凝縮した言葉を書いた夢マップを作る。私はくになりたいから私はくになる。と書き込む脳に視覚で判断させるため。皆さん笑って下さい」と皆を誘う。日本語のアイウエオの母音は宇宙に繋がる和音の笑い。笑いは生き生きエネルギーを呼び寄せる。体温はアップするし筋肉もほぐれ、ストレス減少、免疫力アップで良い事だらけです。プラスの言葉を使う。ありがとう、自分が大好き! 私はハッピー、まあいいか、自分のために忘れよう! を繰り返し思い唱える。身ぶり手ぶりで笑い気功の実演。写真の説明もしながらプラス言葉でマイナス言葉の実験、実演。本当に楽しい時間が足りないと感じるお話でした。

丸山 千代子 記

7月30日(木) 第912回

講師: 鶴川 宗弘 氏
(一社)倫理研究所 法人局 首都圏方面担当研究員
テーマ: 「葉から学ぶ」



私が各地に講話に行き「葉から学ぶ」をテーマに話すとき、葉の十三「本を忘す、末を乱さず」から始める。この中に「終始一貫」ということは、成功の秘訣であるがこれをできないのは、皆本を忘れるからである」と言い切っている。「本(もと)は初心であり、恩意識(物、人、自然)に感謝すること、あたりまえのことに感謝すること」を養うこと、生命の源は親であることを…生きていく親も亡くなった親にも感謝の気持ちである。子に対する親の願いは五つという。一、兄弟仲良く 二、人のためになる働きを 三、健康であってほしい 四、幸せであってほしい 五、長生きをしてほしい…である。

高橋 茂行 記